

第74回国民体育大会柔道競技長野県選手選考会
[女子の部]
実施要項

1. 主催 長野県柔道連盟
2. 共催 (公財)長野県体育協会
3. 日時 令和元年6月30日(日) 午前9時30分 開会式
4. 会場 小諸市武道館 〒384-0802 小諸市乙1189 TEL0267-23-3800
5. 競技方法

(1) 個人試合5階級にて行う。

- ・先鋒 52kg以下の少年
- ・次鋒 57kg以下の成年
- ・中堅 52kgを超え63kg以下の少年
- ・副将 63kgを超え78kg以下の少年
- ・大将 体重無差別の成年

※出場都道府県の実情に応じて次鋒、大将のいずれかを少年種別年齢域の者とすることも可能とする。

(2) トーナメント方式で行う。但し、参加人数により試合方法を変更することもある。

6. 出場資格

【少年】県内に居住しており、2001年(平成13年)4月2日以降の出生者で、長野県柔道連盟を通して全日本柔道連盟に登録している者であること。

ただし、中学生以下の生徒および児童は参加ができない。

【成年】2001年(平成13年)4月1日以前の出生者で、国体開催要項に基づき、下記(1)～(3)のいずれかに該当する選手とする。

- (1) 居住地を示す現住所が長野県内の者であること。
- (2) 勤務地が長野県内の者であること。
- (3) ふるさと制度を用いる者であること。(別紙「ふるさと選手制度」参照)

※開催要項により、他の都道府県選手選考会(予選会)に出場、もしくは出場予定の無い者。

7. 選手選考方法

原則として、本大会の各階級優勝者を長野県代表選手とするが、今年度県内で開催された各種大会の結果についても総合的に判断し、長野県選手にふさわしい選手を長野県柔道連盟理事会にて選手選考を行う。

8. 参加料の免除について

国民体育大会長野県選手選考会において、選考会に出場することを前提とするが、大会の重複や怪我等で出場できない場合は、全日本柔道連盟強化指定選手又は2年以内に皇后盃全日本女子柔道選手権大会、全日本柔道選抜体重別選手権大会、講道館杯全日本柔道体重別選手権大会に出場したことがある選手は参加料を免除する。

※但し、ふるさと選手制度登録する場合に限る。

9. 競技規定

- (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規定によって行う。(※IJF 新ルールで行う。)
- (2) 試合時間は4分間。
- (3) 優勢勝ちの判定基準は「技あり」とする、技による評価が同等の場合は、ゴールデンスコア方式による延長戦により、勝敗を決する。(先に「技あり」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「反則負け」を与えられた選手が負けとなる。)
- (4) 全柔連柔道衣規格に適合した柔道衣(赤ラベルの上衣・下穿・帯)を着用すること。
- (5) その他、ルール等で疑義が生じた場合は、当日の審判監督会議で決定する。

10. 軽 量 試合当日の午前8時15分～8時45分までに会場にて行う。

11. 審判監督会議 午前9時より行う。

12. 参加申込 (所定の申込用紙に必要事項を記入しお申し込み下さい。)

- (1) 申 込 先 〒383-0043 長野県中野市大字三ツ和 1033-1
長野県柔道連盟 競技部長 中山 重光 宛
- (2) 申込×切 令和元年6月18日(火)必着(郵送限定)
- (3) 参 加 料 選手1名につき 2,000円(申し込みと同時に納付する。)

※申込み用紙については、長野県柔道連盟HP「柔道ながの」よりダウンロードをお願いします。

13. その他、以下の点に留意すること。

『脳震盪について』

大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け出場の許可を得ること。大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。尚至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ることとする。当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

『皮膚真菌症について』

皮膚真菌症(トリコフィトン・トズランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、適格な治療を行う。

もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、原則として大会への出場を禁止する。

(ただし、2週間以内の治療証明書がある場合は出場を認める。)